竜丘時報

長野縣竜丘村三五二番地
編輯發行兼印刷人　原　登
發行所　竜丘青年會
代表者　前島秀夫
長野縣飯田町二三七
印刷所　猶興社印刷所

下伊那生絲販賣聯合會の定欵變更の件に就いて

嘯峽生

去る三月七日首題の件に就いて本村に調査會が出來て以來不肖ながら其一員として諸君と共に廣く本件に關する眞相の調査正當なる批判研究に努めた一端は不敢取第一回の報告として大要を綜合し各位に御回覽を願つた通りであります。偖越乍ら調査中特に感じた事の二三に就いて卑見を申してみたいと思ひます。總て物事はこんにやくにでも表裏のある如く勿論相當の相違のある事は考へて懸つたが此の謂所經濟非常時に日夜悶え苦み何處にか活路を見出さねばならぬと思ふ時我等が全生命を委すべき此蠶絲經營の前途かこんな經過の中に轉々して居るとはまさか豫期せなんだ抑昨年本問題が初め提出せられ是が設立の代表者會議當時の狀況を聞くに全く驚くの外はない、當時其席に居つた代表者の中には組合員に何等一回の聯絡もなく是程の重大事件を然も一存で平氣で代表者として記名調印したのが大部分であつたそうな、中には責任上の後難を恐れて理想上個人として贊成だ等と承諾した人もあるそうだ、僅に尚早を唱へたもの本村の外三組合ばかりあつたが少數意見として認められなかつたそうだ。强いる者も强いる者だが郡下の組合代表者の中一人の正當論者もなく强いらるゝ儘に威壓さるゝ儘に大勢順應と引摺られてゐるは情ない、實際今日それ等組合についてみても驚くの外はない。聯合會の計劃が斯くも變轉し斯くも無定見なるは其幹部の無責任は無論なれ共之等余加の代表者の大部分が勝手なる利己主義から萬一のげう倖や狡猾な考へや又は統制上の壓迫等に怯えて輕率にも其場逃れの承諾をした事が現在の狀態に即ち嘘の樣な誠や誠の樣な嘘になつたと思ふ兩者此の罪を分擔すべきものと思ふ。斯かる事情のためか殆んど各村共此の重大事について正規の總會に於て公明なる組合員の討議採決を經たるものなく何れも臭物扱ひにして居る向が多い、相當憤慨して居らるゝ諸君が何處の村にも相當多い。從つて彼等が說く所の事業方面の經過にみるも最初第一目的として明に唱導した。惡原料、供繭の少量、工場老朽等の主觀的欠陷、及根本的欠陷たる小規模經營に對する組合の改廢全郡七工場案、弱少組合救濟論、模範的第一工場案等轉々として猫の目の如く、朝令暮改その無定見さ加減實に論外である。今や將に中絶の形態である、不敢取これではかなはんと云ふ所で二三弱少組合の支持する養成工場案を提げ全員必死の勢で猛烈な地元競爭の裡に下山村に拔き打ち的に決定したそうだ、鼎の湧くが如しと蓋し此の事であらう見當は外れたが兎角一目標が出來たので早速聯合會も郡下各組合に向つて增資增口の承諾調印を請求して來た此の承認こそ實に今回の聯合會定欵變更に對する贊否の分岐点で實に聯合會にありても亦加入組合につきても最も重大難關で兩者共に前途の浮沈是によつて卜される處である例令是が成立したとしても養成工場の合同等は實際問題として無益であるとは既に先鞭ある三穗組合等によつて開くも明である。最近に於ける聯合會の可使寒不可使和的の統制方針殊に昨年七月以來申請中の定欵變更も未だ認可の指令なきに大衆啞然の間に日夜適宜に方針を變へても徒に工作を急ぐとは實に怪しからぬ行爲で聊も共鳴致しかねる處であります、今回家々調査會の任務行動は飽く迄公明正大を期して居りまして決して社會反面を發くを快事とするものではありません。聯合會が斯業統制の機關として寸時も欠く可からざる位は善く承知をして居ります決して之が存在を否認したり侮辱したりするものでもありません、乍然何としても今日の聯合會（即ち天龍社舊伊那社）の今回の定欵變更は其內容をみても此の儘では倒底承認等出來得ぬ者と考へます、先頃總會の際夫々精算も出來て居ると申されたが何と言つても前科者の後身であります、如何に綺麗に洗つてもまさが肥桶は味噌桶にも使へまい、殊に事業經營者等は先代の名を態々襲名するではないか、斯樣な不合理なものでなく今茲に假りに强力な純眞な理そう的な聯合會が生れ是か經營に適材の士を得たとしても今日の場合莫大の投資に堪へて新規事業の經營が出來るか否や指導監督の位置にあるものは良く考へて欲しい。今日の指導に從へば昨日の赤宇でも消えるのなら未だしも指導に指導を重ね赤宇に赤宇を重ねても徹頭徹尾最後の全責任を果すべき者は誰であるか當局に聞きたい。有眼責任は保證責任となり近き將來に於て必然無限責任の强要に逢ふは灯をみるよりも瞭である、我等は茲に產業組合員として最重大なる難關の岐路に居ります。非常時我等の產業は我等の手によつて擁護せねばなりません、三省又三省深甚なる注意と公正なる決意認識を以て此難局を乘切り度いと存じます。

青年教養機構に正しき認識を持て

青年會調査部

小學校を卒へて社會人として一歩を踏み出し動的に靜的に個々の特性を形成し相互の修養を基礎として集まる集團か青年團なのである。國家は青年團の組織を奬勵し小學校教育を終りたる青年をして知德の發達健康の增進を圖らしむると共に團体的訓練自治的教養を行はしむる、村立圖書館青年訓練所補習學校これ唯一の青年教養基礎機關なのであり これによつて益々青年の個性の伸長の度合は完全に成らしめられるのでありかくの如く認識視したならばこれ等充實發展の確立如何は最大なる青年團の至般的象徵を意味するものであり且つ同時に確認すべきは青年團本來の使命なり。以ト各機構について調査部として調査研究批判の一端を述べて青年相互の研究と實踐とを以て青年團本來の使命遂行の萬全を希望するものである。村立圖書館の確立、內容構成の充實化しつゝあるは峽谷を誇る存在にしてこれ村の狀態を自ら物語るものにして、これ一に管理上に於ける青年層の網羅青年會事業の賜と申すも過言にならず青年訓練所補習學校蓄年益々赫々たる成果を揚げつゝあるは論を待たず然して青年團と密接の關係を有するは前記の如くもしか聊かでも沒交涉氣分がみえるべきなれば疑問にしてこれ本來の成り來りであるとすれば矛盾性にして冷靜に考慮すべきなのだ。

一、就學の勸誘出席の督勵
一、學校訓練所家庭及び生徒間の意志の疎通意見の開陳を圖り事業の徹底
一、授業の參觀以つて出席學習の狀況を視察調査
一、施設或は經營に對する希望意見の開陳の並に具申

以上は青年團として當然提携すべき當面の責務である一般的に考察して見ても經濟的に能動的に社會的に將大進歩向上を圖り更生の上に綜合体を形成すべきは明なりこゝに研究も批判も干涉もし以て精神的融合を圖り歩調を一律にすべきは處する青年層の理そうでなくてはならぬ依つて以て吾等は理そうに燃へる勇奮共鳴の青年諸兄の現實化を提唱するものである

女子訓練所の展望

時代の推移は益々女性の躍進に實に物色新らしき傾向を見出し男性の領域を侵さんかとの意氣實に男性への衝動價値は何事か物語るでありませうやと論ずるものありき、吾等は青年として第三者側の立場とを究合し以て調査をし批判をし聊かでも女訓の徹底發展の資料とせん。吾が村の女子訓練所これ特種性を持つ他に類例の少い女し相互の教養團である。今より五年前昭和四年處女會相互が女子道としての團体的訓練の必要と時事問題の刺戟研究による總意こゝに創立されたのであり、誠に趣旨明なり、以來五年間その動向に相互の美飾の惡習家事炊事の支障の不滿亦或る時は銃をもつ軍國精神的味覺等に於て幾多の波紋と誤信とを頂きしが蓄年解消の氣運濃厚眞價は認められつゝある。最近の狀態に於て時間正確尊長質實的紛裝の贅美する点等は精華とも言ふべき視る所である組織狀態は處女會体育部事業にし經費二十圓實に自主的な偉大な事業なり、然して立派な指導者を求めて堅い强いしつかりした潛在的指導精神が存在しゐるは忘れられぬ。隣村松尾女訓の構成を概見したならば大なる相違を見受る女訓は別個の團体にあらずして女子教育の大なる事業とし村立補習學校內の一事業とし補習學校費を以つてこれに充當補習學校長一切を統轄し女訓の精華を揚げてゐる。處女會としては生徒の義務的督勵の規程により訓練の發達を圖るこれ處女會の亦大なる事業なのである、組織の上に差異あるけれど目的方針に於て同一目標女子道の教養訓練なのであつて現在のその成果は實に劣らざるを好評するも過言にあらず、成績概ねよきも益々女し訓の意義目的の徹底を圖り体育部の事業に止まらず處女會として村の援助を受け明日の人物創造の上一段の努力を持つて邁進に意を注ぐは急務にして完欠の光明は認められるのだ。

經濟更生運動の考察

近時何れの村にありても經濟更生計劃が立てられた。經濟非常時難局に立つて如何に此の辻妻の合はない經濟生活をたて直して行くかと云ふ事について研究計劃がたてられそれに則り實踐の効果を上げ樣と努力が表れて來た。

兎角自村の疲弊現狀を匡救し農業商業の振興を企圖し救策を考へた事は村爲政者として當然の事である。

唯爲政者の指導に對する村民の覺醒即ち農村經濟に於ける自營及び組織に橫わる色々の研究或は是正に自醒しなければならない。

各自に於ける改善經濟（家族的）或は共同的經濟の適當なる計劃は即ち自覺を意識する事によつて或程度まで更生するであらう。（つゞく）

雙及劍

合同問題は臨時總會の結果調査會なるものが生れた。

× 調査會は徹透徹尾、天龍社の內容や各組合の動向調査とする。

× 使命や重且大なり。

× いよ〳〵第一回調査書が出來上り內外に堂々と內容と所信を披瀝……。

× これてゐる中に何んとか目鼻がつくだらう。と思つてる中に、大分本當の目鼻がつきだした。

× 一を知つて十を知るなんて事は倒底お百姓にやあ、むづかしいよ……。

× 科學的な頭腦の持主……？部會や聯合會のお役人にや明瞭なそうな。

× が往々にとんだ粗忽は見逃せない事實。

× 探究又探究うんと調査してもらいたい組合員の納得の行くまで。

とんで火に入る夏の虫じあ余り哀れだ

× いよ〳〵村の豫算三萬八千九百十圓か可決された

× 歳出の特別戶數割は一戶平均十六圓八十八錢なり

× 梅花一輪香りてヤレ〳〵と一安心

× 無盡講の調査が出來た村民よ！活目して見られよ

厄介な共同計算

組合製糸がかつて監督指導の當局よりの强要或は威壓によつて郡聯合會經由、絲聯出荷となつた產業組合による統制はよいとしても手段方法等による不備に對する不滿はある其の一例は糸聯の理そうこせる理そう糸價計算即ち共同計算制である。該制度に對する見解は屢々糸聯よりの監督理事者が來りて色々こ說明を加へたけれども餘りにも色々種々見解の相違や事實に於て多すぎる。現在の組合製絲の現狀は共同計算による配分では一寸分明せざる点が多い樣に聞く。系統機關の諸機構はよく發展されて來て其の利用によつてその企業の發達を希願してゐた然し現實はうまくは行かない。それ故に組合製絲は末梢細胞であつて恩惠を豪るにも最後であると思ふ、共同計算による最もこまるのは資金の融通の圓滑を欠く事資金融係も系統機關の經由で色々と途中は長いし、資金の融通を受けてゐる關係上の差引もあり共の間餘りにも復雜すぎ當局者（組製理事者）は色々と文障を來すそうである　該制度に對する反對の聲は各所に湧然として起りつゝあるその一例を示せば、北信の組合製絲共榮社では糸聯の共同計算に固執する事なく今後は先賣り力針をも採用する旨を聲明した。成行販賣は勿論組合製絲の常道とする所であるけれども同共榮社長神戶氏の如きは共同計練制の主張者であり絲聯監事たる關係上共同計算は神戶氏の方によつて生れたとさへ云はれた矢先共榮社が卒先して共同計算制より離脫する事は該制度に對する不滿不備の點の多き事を思はざるを得んし實際に於て共同計算こそ共同計算による資金融通に於て不遇の組合製絲は餘りにも慘めのものである。共同計算の改造こそ目下の最大の急務なり。

竜丘產米月別檢査成績

農檢竜丘出張所

	十一月	十二月	一月
一等	…	…	…
二等	…	…	…
三等	一	一四	一七
四等	四七	一八六	九
五等	三一四	五六〇	三八
等外		七〇	一七五
計	五三三	九三五	六四

右の表は本村のみの產米檢査にして他村を省略す

軍人會春季總會

竜丘村軍人會は去る三月十日日露戰爭三十週年の紀念日を下してかねて數年來懸案なりし全員軍服調製も出來上りしを以て之が披露をかねて春季總會を開催し左記の事項を實施せり

墓參…午前八時半小學校に集合人員点呼後全員揃つて村内の戰病死者の墓參をなす尙墓參に於てその人の略歷を說明し全員に多大なる感銘を與へ各自盡忠報國の覺悟をなさしむ

總會…午後一時半より小學校紀念館に於て開催入會式前年度事業及決算報告、本年度事業計劃及豫算の承認等あり更に村稅滯納整理に關する協議に入り滿場一致左の如き宣言決議を發表して極力之が整理に努力することゝなれり

宣　言

吾等在鄕軍人は益々軍人精神を發揮し鄕に在りては忠良なる臣民となり眞に市町村民の中堅たるの實を擧げ愈々正强なる團結を固め、進んで其の正しき實行力を市町村の爲に貢獻するは即ち吾人が社會の公益を圖り其の風敎を振作する所以にして、又内深く時勢の推移に鑑みる秋、特に吾人の爲さゞるべからざる責務にして、亦軍人會存立の目的に副ふ所以なり。

現下村内滯稅の狀況を見るに其の數漸次增大して之を放置せんか延いては社會の公益と風敎とを紊り村治破綻の因をなすものにして、之が原因の多くは租稅能力者の怠慢、特に功利思想の浸潤に起因するに於て、之を單に現社會の一風潮として、許容等閑視するを得ざるなり。玆に吾人は自ら良兵良民としての臣節を全ふせんが爲め、必成の信念を持し、村内滯程整理の先驅となり、會員各自正自彊以て庶民の模範たるの實績を擧げんことを宣言す。

決　議

吾人は極力滯稅者の根絶を期す。

右決議す。

昭和九年三月十日

帝國在鄕軍人會

竜丘村分會

尙右の目的を達成する爲、松本支部よりの指示に依り

イ、擔稅無能力者及其の實情、ロ、滯稅者及其の理由、ハ、滯稅者氏名及其の稅額並に滯納額等の實情調査を行ひ之を聯合分會長の手を經て松本支部長に報告すると共に役員會に於て細部の整理方法を研究して之が整理をなすことになれり

昭和九年度 竜丘村歲入出豫算

歲入

金三八九一〇圓・歲入總額
金三一四四九圓　歲出經常部
金七千四百五十一圓　臨時部
合計三萬八千九百十圓

歲入

一財産より生ずる收入　七八二
二使用料手數料　四五一
三國庫下渡金　七、四八二
四國庫補助金　一〇〇
五交付金　七三四
六縣費補助　八九〇
七寄附金　八八五
八繰越金　一、五〇〇
九雜收入　一、三〇六
十村稅　二一、五〇八
十一轉貸收入　三、二七一
十二納付金　一
合計　三八、九一〇

歲出

一神社費　一五〇
二會議費　一四八
三役場費　五、七五三
四土木費　五五
五小學校費　一六、五三八
六實業補習學校費　一、一六〇
七青年訓練所費　六八三
八學事諸費　一三三
九傳染病豫防費　二四三
十隔離病舍費　一五
十一勸業費　四一八
十二社會事業費　三、一二四
十三警備費　六〇〇
十四基本財産區域一、〇三六
十五財産費　三三六
十六積立金穀　八四
十七諸稅負擔　三八
十八交附金　一
十九雜支出　八五
二十豫備費　八五〇
合計　三一、四四九

歲出臨時部

一役場費　一五〇
二小學校費　三四五
三傳染病豫防費　四九四
四財産費　三〇〇
五補助金　一、〇四〇
六公債費　三、二七二
七寄附金　一、八六〇
臨時部費　七、四六一
合計　三八、九一〇

養蠶實行組合幹部講習會要項

――養蠶業計劃經營の提唱――

第一表

種別　昭和八年　長野縣　昭和七年　前年對增減　下伊那郡　昭和八年　昭和七年　前年對增減

收繭額一〇、九八三、五八八貫　九、九三一、七三一貫　增一、〇六〇、八五六貫　一、七五、〇八三貫　一、五六五、九七四貫　增一九八、一〇九貫

價格五二、七七六、一九八圓　三〇、九七一、九三三圓　增二、八四、二六五圓　八、四八七、八七七圓　四、四五六、五三六圓　增四、〇三、三五一圓

一掃立蟻量　一四二瓦　一四〇瓦　增　二瓦　一八一瓦　增　一八瓦

戶當收繭額　七〇貫　六四貫　增　六貫　九六貫　增　八五貫　增　二貫

當價格　三二七圓　二〇一圓　增　二六圓　二四五圓　增　二三圓　二四圓　增　二三圓

一瓦當收繭　四九二匁　四六一匁　增　三一匁　五〇八匁　四七四匁　增　二四匁

一反歩當收繭高　二五貫一〇四匁　二三貫五二匁　增　一貫六八三匁　二〇貫七二七匁　一八貫四二匁　增　二貫二三五匁

第二表

種別　昭和八年　伊那郡　昭和七年　前年對比（上繭）

時價による價格　八、一七六、七五五圓　四、二五一、四六八圓　增　三、九三五、二八七圓

一貫匁の平均價　五圓〇九七　二圓九八四　增　二圓一二三

當繭絲目（平均）　一匁四　一匁一　增　〇匁三分

時掛目　四掛七　二六掛九　增　一七掛八

精算價格　五、八八九、二三三圓　六、一四八、〇四七圓　減　二五八、八四四圓

掛目　三掛二　三八掛九　減　六掛七

時價仕切との差額　三掛五　三掛〇　〇掛五

▲養蠶經營の實態

一、華美と倫安とを齎らす養蠶業經營の解剖

二、養蠶業が特に人的要素の圓滿を待つ經營上の實相

三、養蠶經營の基礎を知る諸項目

桑園反別（品種及仕立別）…實態調査より

桑園施肥量…記帳より

各期桑葉收穫量…收穫記帳より

使用桑葉量附收穫桑に對する割合…電買桑、棄桑等加除により

四、養蠶經營の收支計算を知る諸項目

〔收入〕

栽桑收入　賣桑代

物資收入　桑棒、間作收入

養蠶收入

現金收入　繭代金、毛羽代金、掃殼賣却代等

物資收入　蠶沙、廢簇等

〔支出〕

栽桑費

現金支出　雇傭賃銀、購入肥料（間作共）消耗品費（藥品等）雜支出、小作料、建物費、農具費、稅諸掛、桑樹償却費

勞作支出　自家勞銀、自給肥料（間作共）消耗品費（藁、苫）建物費、農具費中自給費部分

養蠶費

現金支出　雇傭賃銀、買桑代消耗品費（藥品其他）雜支出（電燈其他）建物費、蠶具費、蠶種代、稅金諸掛

勞作支出　自家勞銀、自家畜消耗品費中自給費（繩、藁、簇）建物費及蠶具中自給費、雜支出

五、收支計算は各人に先づ消費の分限を敎ゆ

六、各人の生産費安價点は案外其開差多く經營の安固点は各戶共通である

七、養蠶經營政善の諸項目

イ、桑葉質の改善並育蠶技術の向上による蠶作の安定

ロ、養蠶業從事者は勤儉にして進歩的なること

ハ、優良なる土質の桑園所有若は愛土化運動の普遍化による土地改良

ニ、便利なる桑園の所有若は公益觀念に基く農道の改善

ホ、蠶桑必需品範圍の自給部擴大

ヘ、適當なる蠶室蠶具の調製

八、記帳の必要

▲科學的養蠶經營とは？

一、經營の基準

二、用途別桑園の意義

三、用途別桑園の設計

四、用途別桑園に於ける桑品種と土地選定

五、用途別桑園に於ける施肥標準

種別　壯蠶用桑園100對　施肥割合　窒素　燐酸　加里　桑園別施肥中に含む三要素割合　窒素　燐酸　加里　施肥作業　備考

春稚蠶用（一、二齡）　五五　五五　一〇〇　七〇　八〇　三回　作業中二回は堆綠肥

夏及秋蠶專用（一、二齡）　七五　八〇　一〇〇　六五　八五　四回　同

春夏秋中蠶用（三、四齡）　七五　七〇　八〇　一〇〇　五〇　八〇　六回　作業中三回は堆綠肥

春夏秋壯蠶用（五齡）　一〇〇　一〇〇　一〇〇　五五　七五　六回　同

夏秋壯蠶用（五齡）　一〇〇　一〇〇　一〇〇　五五　七五　四、五回　作業中二回は堆綠肥

六、用途別桑園下の育蠶

七、養蠶實行組合は組合員の經營實態に即しつゝ養蠶業科學化經營の指標に向つて邁進せよ

嘗て村の金融機關たりし 無盡講に關する調査

講の總數六十三

講の全額總計百二十三萬一千八百五十一圓

未だ講金を受取らない人の實際掛込だ金額の總計十三萬九千四百五十一圓

昭和八年中に取扱つた掛込及返金の總額一萬九百十六圓

講會に加入者の口數一千八百八十二口

既に講金を取つてしまつた口數一千〇十八口

未だ講金を取らない口數八百六十四口

その昔養蠶景氣に乘つて生れた金融機關としての無盡講は現在の農村恐こう時代に於ける一つの大きい農村經濟に於ける問題である。村に於ける講の金額總計は實に莫大である。此の金融機關の停頓は生糸相場の然らしむる所にして現在の如き蠶絲業界に曙光を認めない以上無盡金融は解決されないであらう。農村の金融經濟は益々圓滑をかき且又人心影響は多いであらう。窮地にあつて打開の方策を考へずんば永久に解決されないであらう。强力な社會政策が個々の妥協案が何れかの方策もあらうと思惟するものである蠶絲業にたよる無盡講である以上現在の樣ではお互は救はれないと思ふ。

丘の圖書館便り

新購入圖書報告

久米政雄　白夜は明くる
牧逸馬　一人三人全集
横山貞雄　人間大倉喜八郎
山下榮藏　衣類整理の十二ヶ月
小原國芳　日本女性の行くへ
報知新聞社　新家庭讀本
想苑社　若き女性に捧ぐ
岸田軒造　悅に滿つる生涯
中島武　海軍々人を志す
京文社　われ等の軍歌
雄山閣　日本刀劍の研究
南浦仙舟　池の坊流生け花の挿し方
朝日新聞社　大衆醫學
石田傳吉　理想の農家
内田繁太郎　田畑實用測量法
山林
吉村清尙　實用自給肥料
米内山泰助　露地蔬菜の育田と定植
東日經濟部新時代の農業經營
岸井壽郎　滿洲の我移民村
中央公論社　非常時國民全集
橘孝三郎　農村學
荒木貞夫　非常時認識と青年の覺悟
松岡洋右　青年よ起て
關根郡平　皇國の危機一九三六年に備へる
村瀨武比古　天皇政治論
忠誠堂　皇道政治樹立を謀る五・一五の全貌と解說
前澤淵月　赤石嶽より
室園成子　永遠の女性
伊那民謠研究會　山の祭り
祖根朝起　神社讀本
平泉澄　武士道の復活
メーソン　創造の日本
内村鑑三　愛國心と基督敎
小野精一郎　佛敎と現代思想
宮島資夫　禪に生きる

●開館案内

三月廿五日卅日四月五日十日
十五日廿日夜間貸出四月三日
十六日午前

菊池寛　心の日月
大下宇陀兒　恐怖の齒型
西條八十　感傷詩集
西條千代　現代女學生模範作文
中里介山　大菩薩峠一〇、一一、一二
戶川貞雄　夜光珠
村松梢風　ふらんすお政
清水閑子　處女王國
中河與一　薔たき花
久米政雄　沈丁花
佐藤之綠　礎

農會總代會

十三日竜丘村役場に於て農會總代を招集九年度事業及豫算等につき協議會を開催せり

流行唄のトップ
ビクター　コロンビア　他各社
さくら音頭
―賣發「燒どら」限り當日午前―
時又　菓子藥品　松岡屋蓄音器部
電話十二番

合同問題の渦
第一回調査會の報告
内外に聲明す
吾組合は何處へ

去る七日の臨時總會の緊急動議の結果、下伊那郡購買販賣利用組合聯合會天龍社の調査會設置となり波亂に波亂の總會も結末を告げ、新に調査會は卅余名を以て組織し其の動向は全郡の焦點であつた。・先に龍江の聯合會脱退は異常なショックを全組合製絲家へ與へ又本村の動きは合同問題に對する警鐘であつた。日和見主義を取つてゐる各製絲に對する巨彈であつた。

調査委員會は直に各方面へ出張、天龍社の内容の調査を遂げ去る十五日夜調査委員會を開催、調査事項に對して審議を重ね十六日いよ／＼調査報告書を配布、一般の三省を求めた。

聯合會は産業組合戰線の擴大強化を企圖し唯實行の伴はない机上の理想論にさらわれ余りにも蠶絲業不振の此際莫大なる出資を考へて剩へ組合製絲の苦境の所へ過重な負擔を課せんとしてゐる。

産業組合協調精神こそ尊いものであるけれど……現實の苦腦は理想によつて救れない。

浮動的ならず固く足を地につけて組合員は考へねば正しき認識を持たなければならないだらう。一方聯合會は養成工場の設立が進捗しつゝあると聞く。何れ組合員が最大の覺悟をきめなければならない時が來る事は事實……組合は……合同問題よ……何處へ。

果樹剪定講習會
桐林支會實業部

當地に有望なる柿樹を主となし果樹栽培改善の爲め冬季剪定實地指導講習會開催、受講者五十余名、青年會員補習學校生徒及び村民多數の出席を得盛會に終る、日時三月三日午後一時より會場桐林集議所及び現場、講師農學校園藝主任久保國治氏、講義約一時間實地指導三時間、講義概要柿

（イ）樹形、圓頭形、高さ十二三尺、主枝三—五本、主枝は重枝にならぬ樣五六寸乃至一尺余離れた位置より生ぜしむ、第一枝は地上三尺内外より

（ロ）夏期剪定（五月下旬乃至六月上旬）内部の徒長密生枝除去、發育力强き枝は三—五芽で剪去し明年の種枝とす、仲長を要する發育枝（主に主枝）はその儘とす

（ハ）冬季せん定（十二月、二月）

一、太枝及直上枝の間引
主枝、亞主枝の間隔は三尺内外を普通とす

一、一年生枝のせん定、種枝は五寸—一尺で先端二三の芽の膨れたるものを可とす

種枝間隔は約五寸内外とし余分の枝は基部より切る

一、豫備枝は種枝の四五寸下部又は上部に殘し二芽できる

一、要するに切り去るべき枝は密生部、徒長直上枝、弱枝の外發育强勢枝及び豫備枝の先端等とす、切返しは夏枝と秋枝との境よりす凡てせん定は外万の芽の直上に於て行ふ

一、成り年には弱く休み年には稍强くせん定す

一、本年の成り枝の約半數は引續き翌年も結果す、但し弱き品種は二割位に止まる

一、成木一本に結果せしむべき平均概數は次の如し反三三本植富有三〇〇、次郎三五〇、甘百目三〇〇、蜂屋二〇〇、身不知三五〇

一、放任樹は三ケ年計劃で行ひ急激に切らぬ方が宜しい

せん定後は直に施肥し樹勢を强めるべし

一、せん定は凡て内部より主太枝の間引より行ふ

皇國の象徴
大國旗作成に着手
基金募集に音樂會開催
時又青年會で

折からの非常時により一そう皇國を認識すべく又類無比なる國体を顯揚すべく今や大國旗掲揚の聲がさかんに叫ばれてゐる折から時又青年會では早くもこれに着手し四月二十九日の天長の佳節を卜し掲揚式を擧行すべく準備中であるがなほこの國旗作成基金募集の爲め音樂會を催すべく決定し各方面の音樂團体にこの意義ある音樂會の後援を依頼し以つて内容の充實をはかりより多數この催しに贊同を待つべく一生懸命になつてゐる。

ちなみに國旗の大きさは二十疊位の豫定で有り音樂會の日取りは三月三十一日と決定した。

長野縣主催
林業講習會
桐林共和會の努力

桐林共和會の肝入りで竜丘村が主体となつて三月十二日より十四日迄三日間役場樓上で開催された。

第一日の講師
信濃山林會技手野村光智氏
講習科目山林に於ける副業。

第二日
營林局技手岩井洋吉氏
信濃山林會技手森戸五朗氏
科目　官行林について。
部落村有林統一問題。

第三日
山林會下伊那支會技手佐々木氏、信濃山林會技手森戸氏
科目部落村有林統一。竹林經營について。

人々の頭から今日迄等閑に付されてゐた山林に於ける副業は實に無盡藏である事を敎へられまた目前の急務である。「部落村有林統一」に對しての森戸技手の話は、認識をより深められた等養蠶事業の行き詰つた今日何等かに向て生活の安定を求めてゐる。今度こゝろみられた林業方面の講習會こそ誠に機を得た有意義な講習會だらう。

因みに講習生は本村五十五名であつて他村からも聽講のあつたほどであつた桐林共和會の勞を感謝されてゐる

話
村の救濟費にあてゝ下さいと
美しい
北滿の一兵士の美擧

滿蒙の曠野戰線に奮鬪せる村の一兵士より俸給の一部を貯金し村の救濟費にあてゝ下さいと左の如き手紙を添へて役場に送付して來た目下農村の不況を滿洲の野に故郷の新聞を見て送つて下さつた心情に泣く。丘に咲く美しき話である。原文のまゝ左に。

村民皆樣

早や三月の聲を聞く時未だ北滿の地は氷結解けず、國境の千山より吹き來る風は肌みをさす樣に泌みます、現在の氣溫は〇下十五度位で大分暮しよくなりました故郷も早春を思はせる梅花も咲き誇る時季となりましたでせう。村民皆樣は御壯健にて農事に、總ゆる職業に從事なされて居る事と遠き滿洲より御推察致して居ります。

日々御送り下さいます故郷の新聞を拜讀致す度に言ひ知れぬ悲しみが起つて來ます。

軍隊生活をすること四ケ年にかくも我が村の不況は深刻になつてゐるのか、私達は何も知らずに毎日討伐に勤務に服務して居りましたが、年取る毎に家事を思ひ將來を考へて見ます時何となく不安は募つて來ます。

その樣な事を考へて見ますと唯無邪氣に過して來た過去四年がおしひ樣な氣がいたします。

今度俸給を少しづゝ貯へて置きまして僅かの金になりましたが御送り致しますこればかりですが村の救濟費の一部にでもなれば滿足と存じます。何卒大金ではありませんが私の心をお汲取り下さいましたら幸と存じます。

未だ故郷は、惡性の感冒が流行して居られる御樣子、くれぐれも誓ひ四時半萬歲三唱閉會す。

初午
當日限り
寫眞ブツク
大安賣
大見切
新生堂

村民皆樣には充分御注意なされて御暮しあらん事を遠き滿洲より御祈り申上げます。亂筆多謝

二月二十一日
北滿一兵士より

村民皆樣へ

右は手紙の原文、金額は參圓竜丘村役場内人事係宛に來たもの。

初午祭り
天氣次第では相當な人出
商工會も必死で
時又久振りに活況

長い歷史を年々其の興味的催し物に依り異狀な賑ひを見せてゐる時又長石寺の初午祭りはこゝ二十四日に當り天氣さへ良ければ大分陽氣も暖く絶好な參詣日和となり早くも春氣分に散歩欲をそゝいで相當な人出を豫想されてゐる。

時又商工會ではこの期を利して町の宣傳をなすべくよりより協議されてから通りの裝飾にやれ旗だやれ大行燈と大忙がしの一方では參詣人の便宜をはかる爲め電車に自動車に賃銀値下げを交渉するなど必死のかたわら各個々の商店も店頭の整備に商品の準備に目まぐるしき迄の有樣である。

なほ佛敎會では參詣人接待の用意に忙しく青年會では例の副業品バザー開催に東奔西走し女子會でもお志る子屋で斷然異彩を放とうとの心がまへ等々々この所時又は冬閑期明けで久し振りの活況を呈してゐる。

陽春三月巢立つ健兒
竜丘青訓所終了式

梅花もほころぶ陽春三月十七日午後一時學務委員及び村會議員諸氏の出席を得て擧行される、終了者總員十六名入營者内二名を含む、終つて記念館に於いて送別會を兼ねて簡單なる茶菓の會を開き終了者は各々四年間の感想今後の努力すべき点等を發表し互いに今後村内中堅となりて努力すべく誓ひ四時半萬歲三唱閉會す。

花の四月ガソリン至着
一一五馬力の新陣容
第四部消防組

竜丘消防組第四部に於いては過日ガソリンポンプ購入に決定し居たる處、いよ／＼日本消防機製作株式會社より最新式三段タービン二五馬力を代理店二石誠一郎氏立會にて購入する事に決定、花の四月五日警視廳檢査を受け消防組幹部が受け取り歸部する事に決定、三月十四日より各方面より寄附金募集に着手す、同機は二吋半のホース五本及び附屬品を受け千六百圓との事なり、此れにて丘の消防組にも二臺の新式ガソリンが揃ふ事となる。

小學校調べ
青年會調査部より

◎高等科卒業生志望調査

男子卒業生總數	三七名
中等學校（農）	二
事務員　片倉	一
龍西館	一
商業見習	一三
東京方面	六
名古屋	二
縣下	五
家庭に在る者	二〇
内補習學校	一八
女子卒業生總數	二二名
中等學校	四
高女新二	二
實科高女	二
家庭に在る者	一三
内補習學校	一一
製糸場	四
龍西館	三
片倉	一
ミシン敎習所	一

此の調査の結果が如何に男女を通じて家庭に在る者の少なく職業戰線に躍るかを見る事が出來る、此れも經濟的非常時表徵の一端である。

◎入學兒童（役場調べ）

本年度入學兒童各區別數

駄科	三三	長野原	一〇
時又	三二	桐林	二五
上川路	一二	計	一一二

昨年度と比較　△印減　增減

	昨年度	今年度	
男	七二	五七	△一五
女	四八	五五	七
計	一二〇	一一二	△八

男女青年會雜報

◎調査部では三月一日役場に於て珠算大會開催、優勝は時又支會。

◎三月九日夜上川路男女青年會では誤樂會を開催なほ十日夜は飯田の矢高東氏を招聘し漢詩吟詠會を擧行。

◎三月五日駄科女青では單獨にて研究會開催。

◎竜丘圖書館の讀者座談會は三月十五日夜小學校記念館に兩角校長を迎へて盛大に擧行。

◎駄科男女青年會では三月七八、九日、三日夜間を自治講習會開催終始盛況裡に終つた。

配達迅速と親切をモットーに
東京朝日
アサヒグラフ
週間アサヒ
信濃毎日
新愛知
菅原新聞店
裁縫仕立を始めました御利用の程お願申します

一泊視察旅行
新野を訪ねて

原英生

二月二十四日桐林青年會では恩師横前先生並びに本村出身旦開村小學校在校中の關島君兩先生の御盡力により遙展研究新しき試みに燃えて南國一の幽屏涼地に鄕土的古事に名聲高き旦開村を訪ねる。

新しき土地旦開を踏みて

旦開村は舊幕中は新野村と稱し代々高須藩領の支配下なりしか廢藩置縣の際旦開村と稱し現在の豊村神原村と聯合して組合村を組織したるも其の後獨立して旦開村と稱さる。旦開村は本藩の最南端に位して縣道飯田本鄕線の終点地にして海拔七百九十四米の高原地帶にして東西に大概ながく黑土なる平坦な集團水田百六十四町歩耕地整理せる水田こそ世に言ふ千石一平と稱せらる高山周圍に群起し諸川は一つの川に合流し新野川となり村の中部を流れて神原村に入る。本鄕線は村の幹線なるが爲にして道路に沿ふて住家多く新野町ありて村の通信機關をたすけ高原地帶とは雖ども米麥種々穀物の産地にて濱松方面に移出せられる。

學校役場は町の中央に位し東に鄕土的に有名な雪祭の鎭守の森に綴る天然樹花の木林の幽勝地こそ飯田本鄕線を守關門として申し分のなき天佑地とでも言はなければならぬ西には又有名なる下社新榮山瑞光院ありて此の寺は古より世人に知られる阿南第一の寺にして此處に祭る新榮山行巡行者は美濃の人にして諸國巡行の後斯山に登りて夜寳座禪念佛を稱えて四海大平五穀豊熟一切を祈り貞享四年九月二十八日入定し以來二百余年の久しきを歴ると雖ども全身舍利と成つて今更變る事なく感應日々に著し之れに據つて祈禱なぞあり參拜者代參人などありて他縣他郡より參者多く又春秋の祭りには村民こぞりて厄難消除豊熟を祈りて行人樣の祭日とせり。

高原に夜明す雪祭盆踊り

抑も雪祭は地方人の最も崇拜する神にして旦開村新野新熊山新野盆地の西南の丘陵中腹に祀る登神にに杵尊にして上社下社ありて下社は正安の頃曾我兄弟の庶弟工藤小次郎國禪師兄弟が勸請せし由緒ある宮にして先づ歳の暮れより行者ならんとする人は宮に寄寓して短かき人にして七日多き人にして十一日位身体を清めて正月十四日曉星を期として白裝の行者上社より本鄕線にいで也馬の舞御牛舞と言ふて周刻せし馬牛を持ちて手振とし舞とし早く申せばマドリンの酋長の舞の如く舞て新野町を南え下りて下社に行くのである。

中でもビンザラの舞なるものこそ雪祭中でも最も古典藝道にてビンザラなるものは古くより傳りし貴重物である。

新野盆踊りなるものは何時頃より踊り始められたるか踊る地方人でも余り明らかならず主体者なる青年自身すらも一寸解答出來かねる樣である兎も角盆踊りなるものは美濃地方より傳りし事は事實である盆踊歌は四百色もありて現在では十二歌色になり藝道には高いお山、手まねき、盆にやおいでとか言ふ樣な踊りがあるそです。盆踊りと服裝は隨意にて兎に角民衆的娯樂なるものこし昔日そのまゝの踊りとして今尙一手おも加えざりしが今日の新野盆踊りをあらしめたことと思ふ。此の高原の夜霧にぬれて三日三晩あかず踊り踊り子も又數千人の觀客も又眞夏は踊らずと盆をまつであらふ。

下伊那郡中堅青年講習會に出席して

木下博生

一

長野縣社會教育會長野縣支部下伊那郡農會、下伊那郡國民精神作興會の主催の本に九日間三月三日より十一日までの講習會が下伊那農學校に於て行なれた講習會日程を云へば三月三日午前十時より開講式午後一時より講義、皇道概說（長野囑託）岡田銘太郎氏、夜座談會（自己紹介）

三月四日、講義思想問題（長野地方裁判所檢事正）德永榮吉氏、講義ソビエットロシヤ事情（國民精神文化研究所）佐野朝男氏、夜座談會（講師中心に）

三月五日、講義思想と家庭社會生活（上田中學校長）土屋彌太郎氏、青年團に就て（長野縣社會教育主事補）山浦國久氏、夜座談會（山浦先生中心に）

同六日、極東國際事情岡田銘太郎氏、國体日本精神（國民精神文化研究所）海後宗住氏夜講師中心座談會

同七日、國体日本精神海後宗住氏、皇道概說岡田銘太郎氏夜岡田先生中心座談會

同八日、農家經營の更新（縣農會技師）長瀨勇氏座談會

同九日、現時の産業に就て（農試分場長）田實氏、農家團体の經營（縣農技師）堀善左衛門氏、座談會

上川路青年會
自治講習會記

末磨生

寒さ嚴しい二月の夜、二十三日より三日間教育部の主催處女會合同で自治講習會を開催した、此の概略を述べて見やう。

當青年會では既に此の講習會を開く事數回連續に行つて來て居るが、今迄は小學校及び農學校の先生方や村内知名の方々を御願ひして其の指導を受げながら行て來たのである

其處で今年は自分達の力に依つて眞の自治講習をやつて見やうと云ふことになり、新しい試みとして計畫立てられたのである。

二十三日午後七時半正確に開會、行事は靜座、會歌合唱珠算、農業、漢文漢詩、唱歌文學と云ふ順序で珠算は普通算の一通りを農業は肥料計算及び作物の肥料吸集作用等に付いて、漢文漢詩は有名な詩拔萃して其の讀方解意の說明唱歌は良き歌を澤山集め其の練習、文學は書簡の書き方やりとりの種々等を行つたのである。

指導方法は青年會幹部が其の任に當り各科目を分擔して二十四日と二晩に亘つて擔任者の非常な努力による研究識見したる所を講義され練習したのである。

最後の夜二十五日午後七時開會直ちに雄辯會で修養方面禁酒方面、所感等に意氣潑溂たる辯士の熱辯に花を咲かせた、引續いて唱歌の總復習をやる。

力の限り一筋に
若き吾等の胸を張り
希望に燃えてつき進む
翼もたけく
翼もたけく翔けんかな
唄ふ聲も朗らかに若人の胸は
高鳴つて居た終りに茶話會を開き十時半閉會となつた。

此の三日間の講習に於て毎夜時間正確に行れた事は常に八釜しく云はれる時間勵行が中々出來て居ないのであるが此の實行出來た事は非常に喜びとする所であり、又親しい間柄だと兎角會合が亂れ勝ちになり易いのであるが良く秩序正しく統制のとれて居たことは會員が自覺を持ち眞劍に此の講習を行つた事を物語るものである。

漢詩吟

山村一鳳

下條行途上雜吟（錄舊作）

春風料峭霽也快
混雪昨雨道益泥
口渴求茶休賣店
拾年二回龍西蹊

題下平某先生住

醉月迷花亦樂雪
臨江左右聳天峯
養身慰勞維君往
屋後遠開望笠松

我住

醉月迷花桐林春
我近校舍結盧戲
繙書管思三遷訓
豈計驕居譜鄙事
晚冬耕桑園有感
止耗日將西嶺巔
雨稀耕地難辭堅
仰看朦朧山容淡
期定明朝降雪天。

愚想を綴る

丘野麗人

人、皆理想で有り空想で有る組合製絲合同問題も加工費の低下と製品の統一とが重点と聞くが、此れも理想で有つて實際は如何なる結果を生じるか？　は民衆等しく抱く疑問で有る。自己の經營を官僚の手に委ね、机上の理想論通りに何事に依らず營んだならば勘定有つての錢足らずと言ふ狀態の結果になりはしないで有らうか。

現代青年はこかく大なる理想空想に惑はされて居りはしないか、否しては居なかつたか？。人間性とし小さな理論より大なる空想へ贊同して行くのが當然で有る。我も此の一人で有り、空想を追つて生活し失敗して來た人間で有る以上強く言明出來得る立場に有る。大なる理想空想を心に置き行く後は太陽を徒らに仰いで走り足元の谷へ轉落する樣な破目になりはしないか。

一代の英傑の言葉を鵜飲みに此の旗下に集い行くのも良いで有らう。然し彼等は幾段階の研究を經て現在の地位を築き上げたる人物で有らねばならぬ。我々青年は此の一歩前に於いて立ち止まり、自己反省をすべきが必要ではあるまいか？

其の他現代青年層に對して實に遺憾なる点は余りにも研究心に於いて乏しく大なる空想のみを畫く事で有り、一人一研究と言ふが如き方法を以つて此の社會を歩んで居る者はほとんど無いと信ずるも過言とは言へまい。

則ち自己の働きを第一に反省研究し、其の後にはより大なる希望へ一歩々々進むのが至當で有る。行政方面を借りて言ふならば自己の腦裡の研究の後には部落的の狀勢を亦此れが終つたならば村の地方の政治的内容を、或は自治体を根本から研究批判を行つて行く事が必要で有り、則ち要は自己の周圍からである。

徒らに偉人を夢見、群衆の域から脱せんとあせるのみが眞理では無い。足元を見極め遲々として歩む者こそ小なる路上の土塊石塊にも倒されずして目的地則ち畫いた理想へ無事到着すべき人物で有る。我々は空想と理そうとを追て余りに走つてはならない。先から歩を進めて行く事を希望づ日常の正しき研究心の修養し亦期待する。（了）

春は化粧とパラソルから
◎春向化粧品
◎新流行パラソル
時又　吉川屋洋品店

花見の酒は「喜久水」を
時又　伊原酒店　電話四十七番

春のお菓子は
若木屋で　電話二十九番
◎二十四日の初午には特別大安賣致します

開業三週年記念
特別五割引撮影　出張も同じ
三月廿一—四月廿日迄
時又觀音　福與寫眞館　電話四十番
◎三月廿四日初午に限り粗景進呈

唄へ！踊れ！
さくら音頭
世界に響けわれ等の流行唄
…何れの會社の物も在庫…
ビクター　コロンビア　ポリドール　特約店　一百目樂器店　電話十九番

新入學期の御支度は？
カバン　セキ石バン　セキ石ヒツ
其の他學用品一切
時又　新生堂文具店

春……時又　佐々木屋ミシン加工部で
おの支度は
お好み次第の
春向生地到着!!
店主田中純　電話四十八番

時又港
御料理　富士松　電話十五番